

ポイント

自動車産業向けに競争力のある生産システム、専用機械設備と金型をインテグレートできるメーカー

- 客先ニーズを具現化する生産システムの専用機や高精度な金型で高生産性と付加価値向上を実現
- アジア、北米の海外3カ国に拠点を展開し、事業の拡大を図り、米国市場での受注獲得で体質強化
- 次世代を担う若手経営者のリーダーシップで将来ビジョンを策定し、新分野開拓や技術者育成の実現

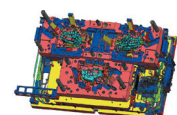
企業基本情報

所在地	三重県桑名市大字増田 500
電話/FAX	0594-24-5050/0594-21-9394
URL	http://www.fusokoki.co.jp/index.html
代表者	代表取締役 服部 岳
設立	1953年
資本金	3,000万円
従業員数	359人



会社概要

自動車メーカーや大手部品メーカーの多種多様な生産システムの自動化された専用機・ライン及びプレス、樹脂成形用金型を主力事業とし、3次元シミュレーション・CAE解析を活用した設計から開発・製作までを同社で一貫して担う高い技術力・製品により、ユーザーの高い生産性を支えるメーカー。また、アジア・北米を中心とした海外での販路拡大を積極的に行い、半数以上の製品を海外向けに供給するなどグローバルに事業を展開している。

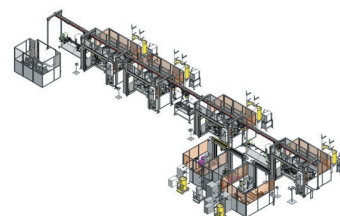


専用機ラインと金型

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

IT技術を活用した高生産システム専用機と金型で生産性向上に貢献

専用機は、ラジエータなどの成形・組立・検査・多品番対応までの生産システム・ラインや複数のロボットを活用した加工精度・効率とも高い溶接ラインなどを一貫生産している。これらは、単純に各工程やシステムをつなぐのみではなく、同社がシステム全体を最適にインテグレートし、客先のニーズを具現化している。金型では、自動車メーカーの部品共通化に応えるため、客先と共同して製品ユニットの能力別に柔軟に対応でき、製作期間を半分にする金型の技術開発に成功した。



高生産システムの専用機・ラインの代表例

海外3拠点の連携を活かし、米国市場の開拓と更なる展開を図る

2003年には中国天津、米国レキシントンに、2015年にはインドネシアに海外拠点を立ち上げ、現地の日系メーカーからの受注実績を拡大している。現在、同社の製品の約50%が、こうしたユーザーの海外拠点向けの供給となっている。このような海外向け取引が拡大する中、特に、北米の現地自動車メーカーやそのサプライヤーとの直接取引の拡大に向けて、金型のメンテナンスでの現地企業との連携等の取組を開始し、更なる事業展開を図っている。



海外拠点

若手経営者が中長期的なビジョンを定め、新分野の開拓や技術人材の育成を推進

現若手経営者が10年後までの経営ビジョンを取りまとめ、3DシミュレーションなどIT技術の活用や航空機分野等の新事業の立ち上げ(2014年にJISQ9100を取得)、中堅職員の底上げなどに全社一丸となって取り組んでいる。また「技術の創造と技能の伝承」を経営理念とし、管理部門を除く約90%の社員が国家技能検定資格を有し、「現代の名工」の表彰を受ける卓越した技能者も輩出し、技術・技能の蓄積と人材育成を実現している。



長期ビジョン策定の様子